

# 北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

一般課程 総合デザイン造形科(夜間2年制)

## 絵画芸術専攻

※2019年度実績

共通教科目	概要	1年次	2年次
就職講座Ⅰ	就職を前提とした本校での学校生活の過ごし方や、学習姿勢、社会人になるための基本を学ぶ。ビジネス能力検定ジョブパス対応。	○	
一般教養(業界研究)	デザインの活躍するシーンを把握する。実際の制作例などを例に、すべてのクリエイティブに共通する「コミュニケーション」の大切さを学ぶ。	○	
デザイン概論	ビジュアルデザインとは何か。その概念や目的を理解する。実例の紹介に演習を交えながら、デザインの領域の広がりや基礎的表現方法について学ぶ。	○	
デッサンⅠ	デザイン、イラスト、CG、漫画、絵画など様々なジャンルに共通する基礎を、デッサンという作業を通して身につける。	○	
Illustrator基礎	Illustratorを使用して基本的な操作技能を身につける。Photoshopなど他アプリケーションと併用してのIllustratorの使い方を学習する。	○	
Photoshop基礎	Photoshopの基本操作の理解し、自ら画像データを編集する技術を習得する。	○	
色彩学	日常生活のあらゆる場面で欠かすことができない「色彩」について、色の仕組みや配色表現など演習を通して学ぶ。	○	
ベーシックデザイン	デザインの基礎となる、「物を見る」「調べる」「考える」「表現する」「伝える」を学ぶ。	○	
レイアウト	造形を構成する基礎的な要素、原則、レイアウト技法を学び、平面表現技法の演習を通じて、レイアウト感覚や工夫、伝え方の基本を習得する。	○	
イラストレーション	イラストレーションの効果と目的を知り、画材の基本的な特性、効果的な技法を学び、しっかり観察し、伝えるためのイラストを表現する。	○	

専門教科目	概要	1年次	2年次
静物表現研究	静物クロッキー・デッサンを通して、そのモチーフがもつ線・形・色彩・量感・質感などの美しさ・存在感を追求し制作する。	○	
油彩表現研究Ⅰ	油彩画制作を通して、油絵具の使用に当たっての留意点・注意点を説明、描き方、色の明度、色の混色などを学ぶ。	○	
絵画空間構成論	<面>と<稜線>の意識や様々な遠近法などの理解を通して空間表現の可能性を考察する。	○	
西洋美術史概論	ヨーロッパルネッサンス以降の作品の表現技法と内容を分析する。美術と視空間との関連を理解するとともに作品制作および鑑賞に必要な基本的知識を学ぶ。	○	
技法研究Ⅰ	パネル、麻布、油性下地、半吸水性下地、吸水性下地などによる違いを実際に体験することで、支持体が描写に与える影響を理解し、その可能性を追求する。	○	
風景表現研究	風景は他のテーマ以上に深い空間感が要求される。特にその点を、明度や輪郭のコントラストのあり方、スフマート、グレース技法などによって追求しつつ制作する。	○	
デッサンⅡ	空間表現が、どうすれば可能であるかの理論的裏付けを理解しつつ、確かなデッサン力を養う。色・形・質感などの異なる様々なモチーフを的確に表現できる力を養う。	○	
支持体研究	支持体(基底材)と地塗りの構造を学ぶ。技法に適した支持体作りは絵画の保存性などに大変重要である。	○	
絵画要素構成論	油彩画における表現を支えてきた理念や理論・メチエなどを、様々な資料を用いながら講義を行う。		○
複合画材表現演習	テンペラ、アクリル、油彩、パステル等を複合的に用いる場合の問題点と効果を理解し、さらにコラーージュ、ステンシル等による表現の可能性について学ぶ。		○
人物表現研究	人物はそのフォルムの確かさや生命感はもちろんのこと、精神性やドラマ性なども特に要求されやすいモチーフである。そうしたことを意識しつつ制作する。		○
油彩表現研究Ⅱ	油彩画の性質を理解し量感や質感・空間感・プロポーション等による自然で確かな表現が出来るよう技法を学ぶ。		○
技法研究Ⅱ	様々な技法とマチエールの探求が目的である。その制作を通して新たな表現の可能性を発見し、表現の幅を広げることを目指す。		○
技法研究Ⅲ	ヴェネツィア派の油彩技法の研究とその技法を援用した作品の制作を試みる。		○
絵画組成概論	テンペラ、油彩、アクリル、水彩、ガッシュ、パステル、日本画等、それぞれの長所や描画、保存において配慮すべき点と、混合技法の可能性について概説する。		○
デッサンⅢ	基本的・本質的なデッサン力を学ぶ。空間認識や稜線と面による構築の理論を総合的に理解しながら制作する。		○
版画表現研究	版的技法を用いた絵画作品としての観点から、直刻法による凹版技法の一種であるメゾチントによる銅版画の制作を試みる。		○
1年前期課題制作	日常の実習を通して学んだ発想・技法を活かし、前期のまとめとして課題制作する。	○	
1年後期課題制作	日常の実習を通して学んだ発想・技法を活かし、後期のまとめとして課題制作する。	○	
進級制作	1年間のまとめとしての成果を問うべく、各自が専攻色を活かしたテーマにもとづき、長時間かけて制作を行う。	○	
就職講座Ⅱ	デザインの現場での採用試験の傾向、エントリーシート・履歴書の作り方、作品の準備、プレゼンテーションおよび面接試験対策を学ぶ。		○
2年前期課題制作	卒業制作を迎えるにあたり、在学中に学んだ専門知識・技術などの専攻色を十分に活かしたテーマ設定とアイデアを考える。		○
卒業制作	在学中に学んだ専門知識・技術などの専攻色を十分に活かして、自らのテーマを設定し、長期間集中して制作を行う。		○
総履修時間		480	480

※夜間部では1年前期に全専攻が共通教科目としてデザインの基礎を、1年後期から専門教科目を学びます。 ※1年間で480単位時間、2年間で960単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。 ※美術系大学の通信講座を同時に受け、中学・高校教諭一種免許(美術)を取得する方もおります。